

# 参考文献の書き方

論文やレポートの作成において、自分が書いた文章の中で引用した他の人の文章やデータ、参考にした文献を参考文献といいます。

参考文献がある場合、その出典を正確に書かなければ、<sup>ひょうせつ</sup>剽窃（他の人の著作物をあたかも自分のもののように論文やレポートで用いる不正行為）となりますので、必ず明記しましょう！



## ■なぜ参考文献を明記するの？

- ・自分が論文で述べていることが過去の研究や事実、データに基づいていることを証明して正当性を裏付けるため
- ・論文の読者に、参考文献リストからテーマに関連する過去の文献を見つけて読み進めることができるようにするため
- ・参考にした過去の研究者に対して敬意を示すため  
などが挙げられます。

## ■どのような情報を書くの？

基本的には、みなさんが作成する論文やレポートを読んだ人が参考文献の記述を見て、その文献に辿り着くことができる情報を書きます。

- ①著者に関する情報（著者名、編者名など）
- ②表題に関する情報（書名、誌名、論題など）
- ③出版・物理的特徴に関する情報（版表示、出版社、出版年、巻、号、ページなど）
- ④注記的な情報（媒体表示、入手方法など）

## ■参考文献の記述スタイル

参考文献はルールに沿って記述する必要があります。ここでは代表的なスタイルを紹介します。どのスタイルで記述するかは研究分野によって異なりますので、担当教員の指導に従ってください。

スタイル	主な分野	制定している団体
SIST 02	科学技術分野 ※日本語論文でよく使われている	科学技術振興機構
APA	社会科学分野	アメリカ心理学会
MLA	人文系(文学・言語学・哲学など)	アメリカ現代語学文学協会
シカゴ	人文系（歴史学・語学など）	シカゴ大学出版局
NLM	医学・生物学分野	アメリカ国立医学図書館

## ■本文と参考文献の関連づけ

本文中で引用した箇所と参考文献を関連付ける方法には主に2つあります。

### ●パンクーパー方式（引用順方式）

本文の引用箇所に、引用した順に通し番号をつけます。  
参考文献リストには、その番号順に出典を書きます。

### ●ハーバード方式（著者名・発行年方式）

本文の引用箇所に、著者の名字と出版年を書きます。  
その番号順に、著者の50音順・発行年順に出典を書きます。

## ■文献管理ツールを活用しよう

文献管理ツールとは、集めた文献情報を保存・整理するためのアプリケーションです。文献リストを作成する機能もあり、論文作成に役立つツールとして活用されています。

### ●Mendeley

- ・ユーザー登録、アプリケーションのインストールが必要です。
- ・2GBまで保存できます。
- ・利用するには、附属図書館ホームページ>情報検索>文献管理ツール>Mendeley にアクセスしてください。

### ●EndNote

- ・Web of Scienceのユーザー登録が必要です。
- ・2GBまで保存できます。
- ・利用するには、附属図書館ホームページ>情報検索>Webデータベース>Web of Science にアクセスしてください。

## ■参考文献の書き方（例）

書き方はスタイルによって異なります。ここでは、参考文献の書き方の例として「SIST02（科学技術情報流通技術基準）」に準拠した書き方を紹介します。

### 【図書】

#### ◆図書全体を参考にした場合

著者名、書名、版表示、出版者、出版年、総ページ数、(シリーズ名、シリーズ番号)。

初版の場合は記載しません。

シリーズ名があるときは記載します。

例1) 山本勝彦, 山中克己. 医療・福祉介護者も知っておきたい食と薬の相互作用. 改訂版, 幸書房, 2014, 239p.

※複数著者(2人以上)の場合、先頭に位置する著者1名を記述し、その他の著者は「ほか」(英文の場合「etal.」)と省略することもできます。

例2) 山本真理子編. 人間の内面を探る「自己・個人内過程」. サイエンス社, 2001, 321p., (心理測定尺度集, 1).

例3) Peters, Pam. The Cambridge guide to English usage. Cambridge University Press, 2004, 608p.

※SIST02では、欧文著者名は姓名の順で、姓と名は,(コンマ)で区切ります。

#### ◆図書の1章または一部を参考にした場合

著者名。“章の見出し”. 書名. 編者名. 版表示, 出版者, 出版年, はじめのページ-おわりのページ, (シリーズ名, シリーズ番号).

著者と編者名がいる場合は、書名の後に編者名を記述します。

例1) 小嶋菜温子. “六条院と女樂”. 源氏物語批評. 有精堂, 1995, p.60-87.

例2) 湯浅幸代. “物語を切り開く磁場”. 源氏物語の生成と再構築. 助川幸逸郎ほか編. 竹林舎, 2014, p.190-208. (新時代への源氏学, 1).

### 【雑誌に掲載された論文・記事】

#### ◆冊子体の雑誌の1論文

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ.

例1) 岡本かおり. 心理臨床家が抱える困難と職業的発達を促す要因について. 心理臨床学研究. 2007, Vol.25, No.5, p.516-527.

※巻号の記述は、Vol.25, No.5や25(5)、25巻5号といった書き方があります。

例2) Oberman, R.P. Fused voices: Narrated monologue in Jane Austen's Emma. Nineteenth-century literature. 2009, 64(1), p.1-15.

#### ◆電子ジャーナルの1論文

著者名. 論文名. 誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-おわりのページ. URL, (参照年月日).

例) Schein, R.M, et al. Clinical antecedents to in-hospital cardiopulmonary arrest. Chest. 1990, 98(6), p.1388-1392. [http://journal.chestnet.org/article/S0012-3692\(16\)40939-6/pdf](http://journal.chestnet.org/article/S0012-3692(16)40939-6/pdf), (accessed 2018-02-15).

### 【新聞記事】

#### ◆新聞原紙の1記事

著者名. 記事タイトル. 新聞紙名. 出版年月, 朝夕刊, 版, 該当ページ.

例) 野村周平. 女子の体力、最高値更新 男子は横ばい 小5・中2、全国調査. 朝日新聞. 2018-02-14, 朝刊, p.38.

#### ◆新聞記事データベースの1記事

著者名. 記事タイトル. 新聞紙名. 出版年月, 朝夕刊, 版, 該当ページ. データベース名, URL, (参照年月日).

例) 坂本純也. 体力、小中ともアップ 全国調査、平均には届かず. 朝日新聞. 2018-02-14, 朝刊, 大阪市内・1地方, p.22. 聞蔵II ビジュアル, <http://database.asahi.com/>, (参照 2018-02-15).

### 【Webサイト】

著者名. “ウェブページのタイトル”. ウェブサイトの名称. 更新日付. URL, (参照年月日).

例) 内閣府. “第1章 少子化をめぐる現状”. 平成29年版 少子化社会対策白書. [http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2017/29webgaiyoh/html/gb1\\_s1-1.html](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2017/29webgaiyoh/html/gb1_s1-1.html), (参照 2018-02-15).

## ▼参考文献リスト

1) 藤田節子. レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方. 日外アソシエーツ, 2009, 144p.

2) 科学技術振興機構. “SIST 02 参照文献の書き方”. SIST 科学技術情報流通技術基準. [https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02\\_2007/main.htm](https://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm), (参照 2018-02-15).